

はじめに

この本を手にしていただきまして、まずは心からありがとうございます。

今の私は私が大好きです。そう言う人多くの人が笑うはずです。私自身どうしてなんだろうと思議なぐらいですからね。なぜなら、容姿だつて美魔女とは程遠いし、学歴だつて有名大卒でもなければ海外留学の経験もない、職業だつて医者や弁護士や実業家や大学教授でもなんでもないし、お金持ちでもなければ、世間が注目するインフルエンサーでもないのですから。

2020年までは東京で資格ビジネスの仕事に携わつておりました。夜になると酒場に繰り出し、飲み歩いていた時期もあれば、出張で全国を飛び回っていたこともあります。稼げていたときなどは、シンガポールのマリリーナベイ・サンズホテルのプールで、プカプカと浮いて下界を見下ろしほくそ笑んだり(笑)、オーストラリアのケアンズがお気に入り場所になっていたり、セレブ風を気取らせていた痛い過去もあります。

転職を繰り返して、人間関係のいざこざや理不尽な思いも経験しました。反省しながらも直せない性格に悩んだこともありますし、自分を否定し落ち込んだこともあります。どうにかこうにか這い上がり、今に至ります。

私は常に私自身に「どうしたの?」「どうしたいの?」という問いを何度も何度もしてきました。その結果、成人式には出席せず、短大の卒業式には袴姿を選ばず、結婚や出産すら私の人生の辞書には、見つけることができませんでした。

読むことと書くことが大好きで、20代のころは小説家になることが夢でした。ただ、そのときは書き上げることができず、自分には無理だとすぐに諦めました。それから月日が流れ4代になり、自分のこれからのことをお金の計算とともにしていくうちに、「書く」ことへの衝動が再び芽生えてきました。

ブログは2011年3月、43歳のときに「住まいと心」をテーマに始めました。住まい関連の資格を付与する仕事をしており、私自身がファイナンシャルプランナーでもあったので、住まいやお金には関心がありました。それ以上に「心」の大切さを痛感していました。

お金持ちになることが目標なのか、豪邸に住むことがはたして幸せにつながるのか、権力を手にし偉そうに振る舞うことに意味があるのか、私は私自身が人として成長し、私なりの幸せを手にしたいと願い、ブログを書きつづけています。

現在私は56歳（2023年8月現在）です。栃木県の実家で母親と弟と暮らしております。独身でパート保育士として週に3日楽しく働いております。本を読み、ブログを書き、まだまだ未熟ですが小説も書くことができます。ボランティア活動にも参加することができ、なんだか怖いぐらいに結構楽しくご機嫌な日々を過ごしております。

ご機嫌に過ごすコツは、些細な幸せを見つけること、素直であること、今ある命に感謝をすること。そして、快食、快眠、快便、快笑（かいわらい）私の造語です）だと信じております。この本を読んでくださった「あなた」が少しでも**ご機嫌**になっていただけたら幸いです。